

平成 18 年度 財団法人浜松市フラワー・フルーツパーク公社事業計画

1 運営の基本方針について

平成 17 年度に開催された行財政改革推進審議会の指摘を真摯に受け止め、運営の基本方針を定め事業を推進してまいります。

まず「花とみどりのまち・浜松」の拠点施設にふさわしい「感動」と「安らぎ」のある魅力あふれる園づくりを積極的に進めるとともに、定着しつつある大型イベントや各種行事をタイムリーに開催するなど、来園者の増に努めてまいります。さらに、花き園芸、果樹園芸技術のさらなる向上と園芸文化の情報発信機能を高めることはもとより、運営にあたっては効率的・効果的な組織編成、人員配置等を実施するなど経営の健全化に努めてまいります。

フラワーパークにおいては、世界各地のガーデンや花飾りが演出される大温室クリスタルパレス、水・音・光のシンフォニーを奏でる音響噴水のほか、平成 17 年度に園内に植栽した「館山寺桜」を館山寺地区活性化の絶好の素材として、又、地域の代表的花木としての活用に努めていきます。また、浜名湖花博で高い評価を受けた百種接分菊や人気のあった青いバラ、ヒマラヤの青いケシ等を用いたイベントのさらなる浸透を図ってまいります。さらに夜桜期間における八重桜並木の積極的な売り込み、ホタル観賞期間の拡大、クリスマスイルミネーションの魅力アップなど、夜間開園の一層の充実を図ってまいります。

フルーツパークにおいては、10 月 1 日に開園 10 周年を迎えることから、これまでの感謝の気持ちと今まで培ってきた園の魅力積極的に情報発信し、誘客に繋げてまいります。また、園内産果物の収穫体験需要を充実させるほか、昨年度リニューアルしたイチゴ園に恒例となりつつあるイベント（1～2 月の雪遊び広場、3 月のアーモンドフェスタ）を組み合わせ、その誘客効果を高めてまいります。一方、地域自然資源の有効的活用としてゲンジボタル観賞会を地元関係者と一体となって開催するなど、入園者の増員及び経営の健全化に努めてまいります。

2 事業内容について

(1) 共通事項

ア 観賞、散策及び研修用の施設の管理運営、栽培技術の指導

(ア) 園内観覧乗物（トレイン）による広範な園内観賞の推進

(イ) 各種園芸教室・講習会の開催及び相談業務の推進

(ウ) 教育関係者及び児童生徒等研修生の受入

イ その他目的を達成するために必要な事業

(ア) 公社経営健全化の推進

(イ) 売店、遊戯施設及び駐車場の管理運営

(ウ) 大型イベントや各種行事の実施及びインターネット等メディアを活用した園内情報の随時発信

- (エ) ボランティアガイドの育成及び園芸作業ボランティアの受入
- (オ) 周辺観光関連業者、地域観光施設との連携による誘客活動の推進
- (カ) ダイレクトメールなどによる誘客活動の推進

(2) 浜松市フラワーパーク

ア 花き類の栽培展示

- (ア) メインエントランス広場及びクリスタルパレス周辺のコンテナ花壇装飾
- (イ) チューリップ展示の充実
- (ウ) 花ハス、水生植物の展示
- (エ) 大型トピアリーの展示
- (オ) 花いかだによる水上装飾展示
- (カ) 早春咲きのハナナ、スイセンの展示
- (キ) ヒマワリ、コスモス花壇の充実
- (ク) アメジストセージをメインにした秋花壇の充実
- (ケ) 早咲きの桜園（館山寺桜、雛桜、雛八丈桜）の充実
- (コ) 原種ツツジ園の再生
- (ク) 花梅園の修景及び早春ボタン特設花壇の充実
- (シ) 有用植物の栽培展示
- (ス) 百種接分菊の栽培展示

イ 観賞、散策及び研修用の施設の管理運営

- (ア) 夜間開園の拡大・充実（八重桜開花時、ホテルのタベ等）

ウ 大温室「クリスタルパレス」の管理運営

- (ア) ガーデンシアター展示の年間企画及びその推進
- (イ) 展示用植物の育成管理
- (ウ) 熱帯植物の育成管理
- (エ) 球根ベゴニアの育成管理
- (オ) サボテン類、洋ランの育成管理

エ 花きの栽培技術の指導

- (ア) キク及びフリージアの新品種の導入、試作、展示並びに優良品種の選定

オ 花きの優良種苗の生産及び配布

- (ア) キクのオリジナル品種の育成及び配布
- (イ) 浜松市農業新技術等研究開発事業の受託

カ 浜松市が設置する公の施設の管理、運営及びその他の業務の受託に関する事

- (ア) 浜松市動物園使用料徴収業務、植栽地等維持管理業務、駐車場整理業務の受託

キ その他目的を達成するために必要な事業

- (ア) ショップ、花売店、レストランの管理運営
- (イ) ゲンジボタルの養殖
- (ウ) ボランティアガイドの育成及び園芸ボランティアの受入

(3) 浜松市フルーツパーク

ア 果樹類の栽培展示

- (ア) 果樹類の標準管理技術及び新しい栽培技術の実証展示
- (イ) 修景木の植栽整備及びトロピカルドーム等園内施設の管理運営

イ 果樹の優良種苗の生産及び配布

- (ア) 果樹類の品種の収集、保存及び新果樹・新品種の導入、試作及び展示
- (イ) 浜松市農業バイオセンターと連携した組織培養による果樹の育苗技術の確立

ウ 浜松市が設置する公の施設の管理、運営及びその他の業務の受託に関すること

- (ア) 浜松市農業振興施設、リンゴ並木及び農林業体験実習館管理業務の受託

エ その他目的を達成するために必要な事業

- (ア) ふれあい市場等を利用した市民交流の推進
- (イ) くだもの収穫体験の充実と通年化の推進及び地元農家との連携による受入体制の組織化推進
- (ウ) 開園 10 周年記念事業の開催
- (エ) 都田川の水遊び及びデイキャンプ、つり堀等自然資源の有効活用
- (オ) 無料大型遊具「宝くじ遊園」を利用した誘客活動、テナント等と連携しての誘客活動の推進
- (カ) 学校向け体験教室の情報発信
- (キ) 新しい見所である白フジの早期観賞に向けた育成管理
- (ク) スモモやブルーベリーなど収穫体験での人気樹種に植栽変更した果樹の育成管理

3 業務の合理化など経営健全化への取り組み

(1) 人件費削減・職員数の見直し

定年退職、中途退職の補充を行わず、弾力的な人員配置や臨時雇用により対応し、人件費の削減を図ります。

区分	本年度	前年度	増減
正規職員数	49 人	52 人	△3 人
その他職員数	4 人	8 人	△4 人
人件費	347,668 千円	378,742 千円	△31,074 千円

(2) CS（顧客満足）システム強化による愛される園づくりの推進

従来の運営方法から一步進めた顧客満足（CS）の考え方を導入し、アンケート調査等に基づく顧客満足度の的確な把握とお客様の声をダイレクトに運営に反映させるシステム構築を推進することで、入園者の増を図ります。